

救農工事終りて民衆に望む

熊 谷 次 郎

昭和七年時の政府が窮乏其の極に達せる農山漁村を救済振興せしむる爲に計畫實施せし所謂時局匡救農村振興土木事業も今春兎に角其の終局を告げた。

名は農村振興土木事業 農村其他應急土木事業とは謂ひ其の内容は一にして共に目的は疲弊せる農村を振興せしむるにあるのだ。燃ゆるが如き熱と莫大なる費用を以て國民歡呼の中に繼續實施せる該事業も果して所期の効果を完全に納める事が出来得たが、批評は區々である。政治家は政黨的の見地に於て成功とも謂ひ失敗とも謂ふ。然らば直接關係有りし一般民衆は是に如何なる批評を與へて居るか。

無意味なりと謂ふ者三割にして七割は共に其の恩澤を感

謝して居る。三割の民衆何の爲に無意味無効果と評するか。

抑々該事業は前述せる如く疲弊せる農村を振興せしむるの最大の目的にして、この目的を貫徹さすが爲貧農及失業者を工事に使役し賃銀を與へ日常生活より幾分なりと生活の脅威を減じて活を與へ金融を圖り併せて道路橋梁墜道の如きを完備せんとする所謂一石二鳥主義なるも如何せん地元の就勞希望者餘りに多く連日就勞出来得る者は殆どなく隔日或は一週に一度位の就勞にて尙六、七十錢の日當賃銀を貰へしとして日常生活が緩和されようか。

所謂燒石に水の有様にして何等救済の恩典に浴せず無効果と評する者あるも是亦道理であると思ふ。其の他先祖代々より傳はりし土地を權力に依りて買収され亦由緒深き家

屋其他物件の移轉除却を命ぜらるゝとか、如何に補償金の交付は有ると謂ひ傳統と名譽を守る彼等純民が完全なる満足を覺ゆるか。

又道路が改良されし故寧ろ今迄より不便になりし家もあり斯の如き私的感情に立脚して該事業を非難する者又多く斯種關係者には評判も悪く、これに和して前述の賃銀就勞問題等直接農村を振興せしむるには其の恩澤餘りにも遠しと謂ふ。蓋し理の當然であるかも知れない。

彼等は常に謂ふ。眞の農村振興を圖らんには下層階級に一定期間の免税をなし、其の免税に因る不足額を市町村役場に補助せよ、と。

亦小作料の如きも其の年の狀況に依りて政府或は縣が決定し低利資金の如きも繁雜なる手續を省略して容易に民衆利用の便を圖り其の他すべて下層階級の實情を實地に調査して適當なる措置を施されん事を希望して居るのである。眞の貧農には道路の改良も橋梁の修繕も其の効果はうすく間接的の効果等は更に希望せず彼等は擧つて直接に効果あ

るものを希望し其れに因る救済を鶴首して居るのである。實に再考に値する問題であると思ふ。

然し該土木事業を廣く天下國家より批評する時は其の効果たるや實に大なりと謂はねばならない。軍國日本、非常時日本にして一入其の感深きものがある。

又道路の整備は今更言を要する迄も無く文化の普及及び産業の興隆に至大の關係有り且高速度交通機關の發達は日進月歩の如き今日地方開發は道路の整備如何に依るや必然にして斯の如き社會に處し實生活上最も緊要なる道路の改善を圖るは地方の福利増進産業興隆を致す基本的の所以である。

今や道路は如何なる山間僻地と謂へ四通八達し昭和の半前に思ひを致す時轉々今昔の感深きものがある。

斯の如く道路も四通八達し橋梁墜道の如きも稍々完全に近きものとなりて該土木事業も土木界には豫期以上の効果を擧げて終局を告げた。蓋し昭和の史上に特筆すべき一大事業であると共に農村より感謝の辭を耳にする時聖恩の無

邊に感銘仕る次第である。

此の聖恩に報ひ國家に益する爲我等業者は將來に向つて何を希望しなければならぬかそれは道路の維持修繕と一般民衆の道路愛護觀念の向上を圖る事である。

道路が如何に改良せられても亦其の管理如何に當を得て居るとは謂ひ維持修繕に最善を期さねば道路は其の用を缺き死すのである。

近時若干市町村に於て尨大なる費用を以て修路工夫を常置し路面の修繕に意を致しつゝあるとは謂へ理想全國的に非ず未だく完全なる域には遠く、我等は常に悲しく思ふ所以である。亦各市町村共土木係土木主任等は居るが技術者は極めて少く何の經驗も智識も無き者が目下の處土木一般を處理して居る有様である。

昔より餅やは餅やと謂ふ。土木事業に従事する者はすべからく土木技術者でありたいと思ふ。何等かの方法を以て各市町村に必ず土木技術者を常置さすべきであると信ず。

若し市町村の經濟状態により土木技術者を常置し能はざ

る時は府縣土木技術者を駐在せしめ豫算設計監督等土木一般事務事業に邁進し各市町村が完全に本省及府縣と聯絡をとり其の完全を期す事を望む。

土木家に非ずして完全なる土木費の豫算を組む事が出来るだらうか、又名譽職にも近き薄給なる市町村土木吏員が果して責任ある仕事が出来たらうか、彼等は常に仕事無きを希望して居るのである。農振工事施行中に於ける書類の整理及工事の監督に多忙を極めし時常に不平滿々少しの誠意も熱も無く府縣よりの注意督促等に耳もかさず又研究心も更に無く唯單に義務的に仕事をなす状態故完全を期する事は到底不可能である。

該農振工事のみならず各種市町村補助工事施行に當り幾多の不便を感ずる事か。

余は望む。一日も早く各市町村共土木技術員及び修路工夫を常置して土木事業の完全を期せられん事を。

更らに一言す。大體市町村共土木事業には餘りに熱が無く誠意が無く我等が等しく悲しみなげく次第である。

故に農村振興による道路改良工事も其の終局を告げて以來所謂工事竣功検査終了後は是に全然手を付けず維持修繕を爲すでも無く折角改良せし道路も其の効果や極めて少く荒るゝに任せこわるゝに任せ道路の存在すらも判然せず放任主義も甚しく。又一且出水せば道路は一躍して川となり降雨があれば池となり泥海と化し牛馬は愚か人さへ通行不可能となるのである。

亦一般民衆の道路愛護觀念も極めて薄く如何に世智辛き世の中とは謂ひ公德心博愛心等は恰も前世記の遺物の如くに心得て日夜私利私慾にのみ走る現代人を善導出來ないものだらうか、名僧がラヂオにて公德心を大量的に惹起せしむべく幾回放送しても其の効果や極めて少い。

道路は公衆の利用に依りて其の効果は多となるのである。莫大なる経費を費して道路を新設しても是を利用せざるに於ては正に無用の長物である。一般民衆とは申せ道路の必要性は承知して居るのだが道路を愛する心が缺如して居るのである。

否愛しては居ても是に手を付け様としないのかも知れない。道路は身體に於ける血管と等しきものである若し血管に故障が起きたら身體はどうなるか若し血管が破れたら人間の生命に如何なる影響を與へるか。

一般民衆の再認識を希望する所以である。

各府縣市町村共有り餘る金でも有らば道路の改良も維持も修繕も意の儘に出來ようが目下の處各地共火の車以上にして道路の改善を期するは經財上容易の業に非ず之が爲地元市町村民の道路愛護の精神に基く協力後援に俟たざるべからざるもの尠ず、特に青年團在郷軍人會學校の如き地方諸團體及之に準すべき團體に於て是等の事業に従事する事は道路の保全上推奨すべき一大美舉たるに止まらず團體員の修養上、社會奉仕の實踐躬行として極めて恰好の措置なりと信するのである。

地元住民が自治公共の精神を發揮し交通機關の能率増進を圖り地方開發文化産業の發展に寄與する事は地方の福利増進を致す唯一の原因にして地元住民の當然の責務なりと

信ず。

各府縣共道路愛護精神の發揚を希望力説すると共に種々なる規定を設けて便を圖りつゝあるも其の効果たるや牛歩にも劣り實に我等當事者の残念に思ふ處である。

故に我々が等しく各市町村共に土木技術者を常置或は駐在を希望し且一般民衆の道路愛護觀念の發揮を圖り道路愛

護會の設立に盡力奔走し市町村及一般民衆の良き伴侶とな

り又府縣其の他の公共團體に於て市町村土木吏員を一堂に集めて座談會、研究會講話會訓話の如き事を爲して道路に興味を興へ認識を深めて萬遺憾無きを期して萬國に比類無き土木國の實現を希望して止まない次第である。(終り)

昭和十年度國直轄

愛媛(二十四號)國道改良工事概要

N T 生

此の概要は、内務省神戸土木出張所より頂いた本工事の竣功圖書と、工事を直接擔當せられた羽賀内務技師の御厚意に依り掲記し得たものである。(七、一三)

(一) は し が き

二十四號國道の中愛媛縣内に於ける國直轄改良工事は、